



## ご入学・ご進級おめでとうございます

4月1日からスタートする学童クラブの生活。1年生にとっては、不安と期待でいっぱいですね。そして2,3年生以上の子ども達にとっては1年生を迎え入れるお姉さんお兄さんシップを発揮する時でもあります。そして1年生保護者のみなさまにとっても、初めての小学校、初めての学童クラブ。不安と期待はお子様と同じではないでしょうか？



### 解決の糸口

#### その①

**不安な気持ちは、まず保護者の友達作りから「保護者同士の横のつながり」が子どもを守り、生活を豊かにする第1歩！**

子どもにとって友達が大切なように、保護者にだって友達は大切です。子どもだって初めての小学校生活ですが、保護者だって不安がいっぱいの1年生です。

保育園と違い毎日の送迎が必須ではなくなるので、学校の先生や学童クラブの指導員さんと直接お話しする機会も減り、学校や学童クラブの様子や伝達事項は我が子の伝達能力がカギ...となります。また、学童クラブの保護者は、ふだんなかなか他の保護者と交流する機会が少ないため、情報共有が遅くなったり、時には知らなかった、という事になりがちです。

令和5年度は、コロナ禍で開催できていなかった父母会イベントも、復活の年となりました。夏休みに親子で宿泊ツアーを開催し、マスのつかみ取りやスイカ割り、花火を満喫した学童クラブ父母会もあります。（父母連HP 父母連ニュース2023年NO.4）子どもも大人も楽しみながら交流して子育ての悩みや不安の相談や仲間作りができる貴重な場です。

ぜひ保護者がつながれる場には積極的に参加して横のつながりをつくりましょう。学童クラブ主催の保護者会や学校の保護者会、町内会などの地域の集まりにも積極的に参加して横のつながりを作りましょう。もちろん父母会の中でもLINEで横のつながりを作っている父母会もありますのでぜひつながってください！



### ■いま 学童クラブの転換期

#### 令和6年4月、民設民営放課後児童クラブ(学童クラブ)開設

世田谷区の学童クラブは、大きな転換期をむかえています。学校外にあった学童クラブが区立小学校の中に入り、BOP（全児童対象のあそびの場）と学童クラブを一体的に運営する「新BOP」が導入されてから24年が経過。当初の少子化の流れとは逆行し、世田谷区内は小学生の増加、就労家庭の増加により登録児童200名を超える大規模学童クラブが急増。対策として区は令和6年4月より民設民営の学童クラブを開所しました。また「小1の壁」問題ともいえる育成時間の延長については令和5年4月より19時までの延長を実施。長期休暇中の宅配弁当を要望する保護者の動きに対しても区としての対応、検討を進めているところです。

### 解決の糸口

#### その②

#### 指導員さんと仲良くなりましょう

学童クラブは学校と別組織で、役割も違います。学校は学習の場所ですが、学童クラブは生活の場所です。一見、同じ学校という建物の中で居場所が移動しただけ...と思いがちですが、子どもは学校から学童クラブへ「ただいま」と帰り、学校での緊張を解く居場所となっています。そして学童クラブの指導員さんは、子どもの生活や遊びをサポートしてくれる強い味方です。「生活」の部分を見守っているため、学校よりも家庭に近い雰囲気の中で指導をしてくれています。

4月は子どもにとっても環境の変化が著しい時期です。ぜひ積極的に保護者会や個人面談、連絡帳を活用して指導員さんとたくさん話し、一緒に子どもを育てていくパートナーとして信頼関係を作っていきましょう。

#### 子どもは必ず自立します

保護者同士や指導員さんとのつながり、そして地域とのつながりが大切です。小学生になると子どもは1人で学校に行き、学校から学童クラブに帰り、そして家に帰ってきます。送迎が必須の保育園とは違って「1人で」判断しなければならない事も増えて来でしょう。通学途中の地域の方々の見守りも子どもを助けてくれます。失敗もたくさんあるでしょう。でも心配はいりません。必ず子どもは自分のペースで自立していきます。先輩ママ、パパ達は、この「1年生の壁」を乗り越えてきた「今は笑い話」なエピソードをたくさんもっています。子どもと一緒に親もゆっくり成長していきましょう。1年後には、笑って話せる日を信じて...

## 第58回全国学童保育研究集会に参加された和光学童保育クラブ指導員の榎本祐明さんからのレポート後半です。

※前半はニュース2023.5号に掲載。バックナンバーはこちら→



二日目は分科会で『子ども理解と学童保育の生活づくり』に参加しました。タイトル通り、心のケアを中心としたテーマでしたのでこの数年で被災した地域の指導員もいれば、コロナでたいへんだった学童の指導員さんもありました。そんな中で、どのように子どものケアを行ってきたのか、またはこの先どうしていったらいいかを確認しました。

まず、学童保育はあそびと基本的な生活（例えば整理整頓であったり、食事、おやつ、衛生管理、休息など）に属する活動を行なうので、学童が役割を果たすうえで、①出欠の確認②一人ひとりの心身の状態の把握③おやつや食事④子ども安全などが欠かせません。これらを前提としつつ、子どもものストレスに対して、どうケアできるでしょうか。

非常時に子どもに見られる反応・行動とされている人に対して理想的には、すべてが並行して提供される必要がある→例えばレベル①では基本的サービスと安全ということで「衣食住の支援」、またレベル②ではコミュニティ及び家族の支援、レベル③では特化した非専門的サービス、レベル④で専門的サービス...などありますが、どのレベルであってもそこを確保できれば最後は自力で立ち直れるようになるための支援になっていました。自力で生きていくことで生きがいを感じられたらいいですね。

また、支援をしている側の人たちにも支援が必要です。学童指導員も立派な支援者になろうとして過度の努力をしたり、ほかの支援者への怒り（なんでもっとしっかりやってくれないんだらう）を発生してしまったりは感情抑制困難になってしまいます。それだけではありません。子どもも大人も昨今、家族がゆっくり関わる時間の余裕や、気持ちのゆとりが持ちづらい現実があります。誰であっても心を解放して家族や友だちと過ごせる時間が必要です。学童保育が、自分が、少しでもそういった支えになれるよう日々学んでいこうと思いました。このような学習の機会をいただき、ありがとうございました。

2023年11月14日（火）榎本祐明

## 長期休暇中の学童へのお弁当デリバリーについて（若林小）

私たち若林小では、保護者有志により「世田谷区学童お弁当導入を考える会」を立ち上げ、2021年9月に2300名のアンケートを添えて保坂区長と世田谷区子ども・若者部児童課に対して要望書を提出しました。

それから幾度となく児童課長や学童職員をはじめ、仕出し弁当業者との打ち合わせややりとりを経て、2021年冬休みからようやく試行導入がスタート。学童職員の皆様のお力添えもあり、大きな問題もなく、無事に試行導入を終えることができました。

その後、同じように学童へのお弁当デリバリーを実現したいと考える区内の保護者同士で意見交換や相談できる場を作ろうとオープンチャットを立ち上げ、そこに参加された一部の学童保護者の皆様と一致団結して進めてきました。

2022年夏休みからは松丘・玉川・多聞の3校が続き、2022年冬休みからは下北沢・砧・池之上、2023年夏休みからは新たに代田と烏山でも試行導入が始まり、導入校は9校に広がりましたが、児童課の後押しをいただきながら、各校保護者が主体的に動き、各学童に対して個別にアプローチをすることで学童職員の皆様のご理解とご協力をこぎつけて実現に至るといった状況がありました。

そのため、お弁当業者の選定・契約から学童との調整、学童保護者への利用登録の周知や同意書の取り付け、試行導入時のお弁当の配布等々、有志の保護者が主体となって運営することが大前提でした。

そうした中で、昨夏になって児童課が学童弁当業者の公募に踏み切り、業者が選定されました。そして、冬休みからは新たに三宿・上北沢・中丸・八幡・芦花・千歳台・弦巻の7校で導入されました。

学童ごとに人員体制や施設構造なども異なることから一部では調整が必要な学童もあるものの、自治体オペレーションによる導入が始動する点は大きな前進です！

学童弁当デリバリーは、各家庭で必要に応じてサイトからカード決済で注文すれば学童にお弁当を届けてくれる仕組みです。もちろん利用は任意です。注文日も一部の注文不可日を除いて基本的には日ごとに選べます。

日々忙しく働きながら子育てしている保護者にとっての強い味方、セーフティネットとして機能するのがこの学童弁当だと考えています。

世田谷区の学童に通う未導入校の保護者の皆様、関心のある方は是非オープンチャットへのご参加、お待ちしております。↓  
<https://forms.gle/m33a3it88kqgkKhZ6>

## ○全国・都との繋がり

保護者の学びの場を提供  
他自治体の様子がわかります。

## ○新入生保護者のための学童情報交流会

11/10、11/17(日)web開催予定  
保育園等の保護者を対象に、不足しがちな学童の情報を現役保護者がお話しします。

## 世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会(通称;父母連)とは？

父母連は学童保育クラブの充実・向上のため

- ①父母会同士、区外の父母会・指導員との交流、情報交換
- ②保護者同士、親と子の親睦を深める場の提供
- ③行政・議会への働きかけ などの活動を行っています。

## 1年間の主な活動

### ○総会・ブロック会

近隣の父母会同士の情報交換会  
父母会運営や困り事解決の  
ヒントを得られます！

総会：6/9

ブロック会：9/28、12/14、  
2/15(土)10～12時

### ○要望書・要望懇談会

保護者の声を行政に届ける  
機会を作ります。

### ○ニュース発行

父母会の活動紹介  
学童を巡る動向を発信

## 第49回父母連総会のご案内

6月9日(日)13時～16時 久々の対面開催です。

会場未定※決まり次第お知らせします。



- ・父母連加入の父母会は1名以上の出席をお願いします。
- ・13時～15時総会、15時～16時 第1回ブロック会を予定。

父母連ニュースNo. 1 2024年4月1日発行

世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会

URL <https://www.fuboren.tokyo/>



世田谷父母連

子どもたちに豊かな学童生活を、  
父母たちに楽しい父母会活動を

【父母連HP】 【父母連メール】



父母連会費について

●2024年度父母連会費は、1年間200円×集金世帯数です

■郵便振替口座：01110-6-650871

■加入者名：世田谷区学童保育クラブ父母会連絡会

※「通信欄」に「父母会名」「明細」をご記入ください  
《銀行振り込みの場合》

■銀行名：ゆうちょ銀行 ■金融機関コード：9900

■店番：019 ■店名（カナ）〇一九（ゼロイチキョウ店）

■預金種目：当座 ■口座番号：0650871